

かすみがうら 市議会だより

目次 CONTENTS

No. 71

- P2 令和4年第1回臨時会提出議案
- P3 令和4年第3回定例会提出議案
- P4 議案審査特別委員会議案質疑
- P5-6 決算審査特別委員会議案質疑
- P7 委員会活動
- P8-11 一般質問
- P12 コラム

◆令和4年第1回臨時会が開催され、
いずれの議案も可決承認されました。

◆令和4年第3回定例会が開催され、
令和3年度かすみがうら市一般会計
歳入歳出決算の認定についてなど
を慎重に審査し、いずれの議案も
可決承認されました。



▲伊藤幾久造 作『襖絵(秋)』
(かすみがうら市歴史博物館所蔵)

令和4年第1回臨時会議案等議決結果一覧

令和4年第1回臨時会が、8月9日に開会されました。今臨時会では、組合議会議員の補欠選挙や教育長の任命など、議案3件、承認1件、選挙3件、を慎重審議し、いずれの議案も可決となりました。

※賛成は○、反対は◆、不在は／、除斥は除で記載

※岡崎議員は議長職のため、特別多数決以外の議案については本議会での表決（賛成・反対の意思表示）権はないためーで記載

議案番号	氏名 件名	金子	吉村	鈴木	櫻井	小倉	櫻井	設楽	来栖	川村	岡崎	田谷	加固	佐藤	中根	鈴木	矢口	議決結果
		遥	慎治	貞行	健一	博	繁行	健夫	丈治	成二	勉	文子	豊治	文雄	光男	良道	龍人	
39	令和4年度かすみがうら市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	／	-	○	○	○	○	／	○	原案可決 （全会一致）
40	下稲吉中学校屋内運動場新築工事建築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	除	◆	○	／	-	○	○	◆	○	／	◆	原案可決 （賛成多数）
41	かすみがうら市教育委員会教育長の任命について（井坂 庄衛 氏を任命）	○	○	○	○	○	○	○	○	／	-	／	○	○	○	／	○	同意 （全会一致）

【承認】

6	専決処分事項の承認を求めることについて〈化学消防ポンプ自動車の取得〉	○	○	○	○	○	○	○	○	／	-	○	○	○	○	／	○	原案可決 （全会一致）
---	------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------------

【選挙】

1	湖北環境衛生組合議会議員の補欠選挙について	当選（吉村 慎治）															
2	霞台厚生施設組合議会議員の補欠選挙について	当選（鈴木 貞行）															
3	石岡地方斎場組合議会議員の補欠選挙について	当選（金子 遥）															

かすみがうら市議会ホームページでは
開かれた議会を目指し
さまざまな情報を発信しています

本会議の生中継や録画放映、会議録など、市議会の情報を多数発信しております。スマートフォンにも対応しております。ぜひご覧ください。



▲市議会ホームページ
QRコード



発信中!

令和4年第3回定例会提出議案

令和4年第3回定例会議案等議決結果一覧

令和4年第3回定例会が、8月30日から9月21日までの23日間で開催されました。今定例会では、令和3年度一般会計決算の認定など、議案17件、請願1件、委員会発議1件を慎重審議し、いずれの議案も可決となりました。

※賛成は○、反対は◆、不在は／、除外は除で記載

※岡崎議員は議長職のため、特別多数決以外の議案については本議会での表決（賛成・反対の意思表示）権はないため－で記載

議案番号	氏名 件名	氏名														議決結果				
		金子遥	吉村慎治	鈴木貞行	櫻井健一	小倉博	櫻井繁行	設楽健夫	来栖丈治	川村成二	岡崎勉	田谷文子	加固豊治	佐藤文雄	中根光男		鈴木良道	矢口龍人		
42	かすみがうら市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
43	かすみがうら市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
44	令和4年度かすみがうら市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
45	令和4年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
46	令和3年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	認定 (賛成多数)
47	令和3年度かすみがうら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	認定 (賛成多数)
48	令和3年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	認定 (賛成多数)
49	令和3年度かすみがうら市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定 (全会一致)
50	令和3年度かすみがうら市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定 (全会一致)
51	令和3年度かすみがうら市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定 (全会一致)
52	旧下大津小学校解体工事変更請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
53	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
54	令和4年度かすみがうら市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
55	令和4年度かすみがうら市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
56	令和4年度かすみがうら市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
57	かすみがうら市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意 (全会一致)
58	かすみがうら市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意 (全会一致)

【請願】

3	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (全会一致)
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

【委員会発議】

4	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全会一致)
---	---------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------------

令和4年第3回定例会

議案審査特別委員会における主な議案質疑

議案審査特別委員会は、議長を除く15名の議員で構成。

(9月6日開催)

議案第42号 かすみがうら市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定

【議案の概要】

市民が手数料以外の市の歳入（使用料等）をキャッシュレス決済によって納付できる環境を整備するものです。

Q 本整備によって具体的にどのようなことが可能になるのか

A 現在構築しております、いばらき電子申請サービスを使った行政手続のオンライン化に伴いまして、その中で、例えば住民票等を取り寄せる場合に、住民票の交付手数料プラス郵送料などを合算して、オンラインのキャッシュレス決済で支払いが出来るようになります。現在、いばらき電子申請ではクレジットカード、PayPay、LinePayの3種類の決済サービスに対応しております。

議案第44号

令和4年度かすみがうら市一般会計補正予算（第7号）

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額に、それぞれ5275万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ200億5884万1000円とするものです。

Q 467万5000円を計上する電子図書館サービスとは



A 電子図書館とは、あじさい館の図書館や千代田公民館の分館に行かなくても、インターネットを通じて個人所有のパソコンやタブレット、スマートフォン等から電子書籍を無料で借りて読むことができるサービスです。全ての紙の図書が電子図書へ移行するのではなく、図書環境の選択肢を増やすことを目的として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、電子図書館の導入を進めるものです。電子書籍は1,000タイトルを導入し、令和5年1月からの利用開始を予定しております。

Q 地場産品販路拡大DX推進支援等業務委託とは

A コロナ禍において、市内事業者の従前の流通販売網以外にオンラインでのダイレクト販売など、DXの視点を取り入れた新たな販路の拡大を支援するため、市内事業者の活用実態状況を調査し、現状の分析と想定される課題等を洗い出して支援するための業務委託です。



▲牛渡地区の急傾斜地

Q 災害対策に要する経費200万円とは

A 令和3年度から茨城県が着手しました牛渡・柳梅地区内の茨城県単急傾斜地崩壊対策事業の令和4年度分詳細設計費用に対する市町村負担金となります。本件につきましては、令和3年度から現地調査、地質調査に入っております。今年度は予備設計、詳細設計を行い、来年度の埋蔵文化財調査の後、工事に着手するものです。

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は議長、議会選出監査委員を除く14名の議員で構成。

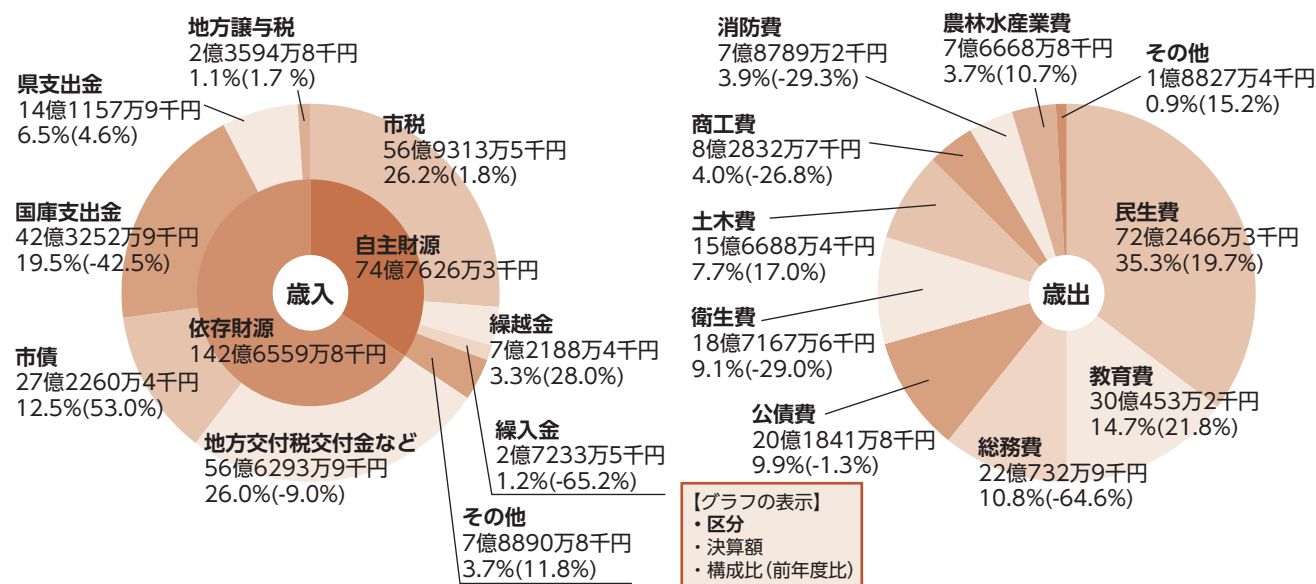
(9月12日、13日、14日、15日開催)

○委員会付託案件の審査

各決算議案の審査は決算審査特別委員会に付託し、一般会計、特別会計、公営企業会計のそれぞれの決算の認定を審査いたしました。

一般会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

【歳入総額】 217億4186万1千円 (-11.6%) 【歳出総額】 204億6468万3千円 (-14.3%)



特別会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

【歳入総額】 88億5897万円 (4.9%) 【歳出総額】 86億2697万2千円 (3.4%)

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	42億7719万2千円 (5.1%)	41億5983万9千円 (3.8%)
後期高齢者医療特別会計	9億2560万円 (3.9%)	9億849万2千円 (2.8%)
介護保険特別会計	36億5617万8千円 (4.9%)	35億5864万1千円 (3.1%)

公営企業会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

	収入	支出
水道事業会計収益的収支	9億7528万9千円 (-1.4%)	9億1038万9千円 (-0.8%)
水道事業会計資本的収支	2億155万円 (220.0%)	6億2669万円 (70.9%)
下水道事業会計収益的収支	13億9769万7千円 (-2.3%)	13億4290万6千円 (-2.3%)
下水道事業会計資本的収支	5億3791万5千円 (16.4%)	8億3683万2千円 (8.7%)

※収益的収支、資本的収支共に税抜き表示となっております。

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

○審査内容（主な質疑を抜粋）

Q 前年度と比べ令和3年度は総務費が40億円超減少した理由は

A 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策のための特別定額給付金事業が終了したことによるもので、この影響は41億4500万円になります。

Q 前年度と比べ令和3年度は民生費が18億円超増加した理由は

A 住民税の非課税世帯への臨時特別給付金事業で3億3400万円超の増加に加えて、子育て世帯の生活支援特別給付金や子育て世帯への臨時給付金として5億8700万円の増加、さらに、千代田中地区放課後児童クラブの施設整備分として2億1800万円増加した影響が考えられます。



▲千代田中地区 放課後児童クラブ施設

Q 前年度と比べ令和3年度は衛生費が7億6500万円超減少した理由は

A 前年度、霞台厚生施設建設のために支出した負担金、13億円の影響が考えられます。令和3年度から当市のごみも当該施設で処理されております。



▲働く女性の家 トレーニング室

Q 前年度と比べ令和3年度は働く女性の家管理費が2500万円超増加した理由は

A 働く女性の家のトレーニング室を多目的室へ改修した影響です。主な改修内容は、エアコンの新設や照明器具のLED化、床は鋼製床下地によるフローリング仕上げとし、バドミントンのコートラインを引きました。卓球台等も設置され、軽運動室としても利用されております。

Q 前年度と比べ令和3年度は農林水産業費が7394万9000円増加した理由は

A 護岸工事のための費用3200万円と産地生産基盤パワーアップ補助金のために2800万円を増加したことが主な理由です。

Q 婚活サポートセンターの受付時間が毎週から隔週になるのは

A 令和4年10月1日から予定している電子申請システムの導入に伴い、婚活サポートセンターへの登録申請が自宅のパソコンやスマートフォンから24時間いつでも可能となるため、窓口での受付時間を短縮するものです。

Q 自主防災組織結成に向けた取り組みは

A 令和3年度はコロナ禍で説明会が開けない中、防災訓練の場を使って自主防災組織結成を呼びかけました。今後は消防団や防災士との連携も視野に入れ、市民全体の防災に対する意識を高めていきたいと考えております。また、そのような観点から、防災教育についても令和4年度は検討していきたいと考えております。



委員会活動

総務委員会

○閉会中に行われた委員会

令和4年8月17日開催の調査内容

- かすみがうら市過疎地域持続的発展計画の策定について
- かすみがうら市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
- 議会だより編集特別委員の選任について



▲説明を受ける委員
【千代田庁舎委員会室】

文教厚生委員会

○閉会中に行われた委員会

令和4年8月23日開催の調査内容

- 小中義務教育学校スクールバスの指定
停留所以外での降車事案について
- 委員会付託案件等の審査
- 令和4年9月5日開催の調査内容
- 小中義務教育学校スクールバスの指定
停留所以外での降車事案について
- 請願第3号 教職員定数改善と義務教育
費国庫負担制度堅持のための政府予算に
係る意見書採択を求める請願について
- かすみがうら市民生委員推薦会委員推
薦について



▲説明を受ける委員
【千代田庁舎委員会室】

産業建設委員会

○委員会付託案件等の審査

令和4年9月5日開催の調査内容

- 議案第53号市道路線の変更について



▲市道変更箇所の現地調査
【大和田地内】



▲説明を受ける委員
【千代田庁舎委員会室】

佐藤 文雄 議員



Q 東海第2原子力発電所の再稼働について、新市長の見解を伺う

A 実効性のある広域避難計画など防災体制の不備があり、反対の意思を表明させていただきます

Q 東海第2原発は、30キロ圏内に94万人、150キロ圏内首都圏では4千万人が生活しておりますが、再稼働について新市長の見解を伺います。

A 市長 私は、2つの理由で反対の意思を表明させていただきます。1つは、令和3年3月18日に水戸地裁において判決が下されました、運転差止め訴訟の原告勝訴となった理由であります、実効性のある広域避難計画など防災体制の不備です。2つは、東海第2原発運転開始当時に設定されました運転期間40年は既に終わっているということです。放射線による設備機器の劣化の影響は、検査できない箇所にも及んでいると想定されるとともに、今後、加速度的に劣化が進む恐れもあります。また、地震や竜巻などの発生の際に重大事故を起こさないと限りません。

Q 義務教育の無償を規定した憲法26条に照らし学校給食も無償化すべきではないか。

A 教育部長 学校給食の無償化を進めるとするならば、市が単独で財政負担をしていかなければならず、大きな財政負担が継続的に必要でありますことから、安定的な財源確保という面で難しい状況に変わりはありません。

321 東海第2原発再稼働について市長選及び市議補選における投票方法について「義務教育は無償」に関わって保護者負担の解消について

質問通告事項



櫻井 健一 議員



Q 本市のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画の進捗状況について伺う

A 令和7年度末までの自治体共通システムへの移行に向け、調整を行っております

Q 国が示した自治体DX推進計画の重点的取組みに対する本市の進捗状況についてお伺いします。

A 市長公室長 「自治体の情報システムの標準化・共通化」の本市における具体的な進捗状況については、令和7年度末までの移行に向けた準備を進めています。共通仕様の情報システムを全国共同で利用することに向けて取り組んでおり、標準化される仕様と、本市の現在の仕様との機能差異を分析し、今後の対応についてシステム事業者と調整を行っているところです。

Q 行政サービスの常識であった「書面主義」・「押印原則」・「対面主義」から効率化に向けて、行政手続きのオンライン化が進められているが令和4年10月1日から運用されるオンラインサービスについてお伺いします。

A 市長公室長 これまでは原則として市役所の窓口に来なければ行えなかった、補助金の交付申請や証明書の交付申請、施設の利用申請等や、茨城県及び県内全市町村が共同運営している「いばらき電子申請・届出サービス」又は、公共施設予約システムを利用することで、自宅に居ながら行えるようになります。オンラインで行える手続については、市民需要等を考慮して今後増やしていきたいと考えております。

Q 自動運転のバスなどが試験的に運用されているような市もあります。本市でも採用するよう考えがあるのかお伺いします。

A 市長 自動運転の取り組みについては、先進自治体でどんどん活用が始まっておりまして、かすみから市においても、まだ具体的な取り組みの計画はございませんけれども、例えば、モデル地区を設定して試験的に導入してみるとか、そういった取り組みについては積極的に検討してまいりたいと考えております。

1 市民生活の利便性向上に向けた本市の自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組みについて

質問通告事項



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

中根 光男 議員



Q 地方創生臨時交付金を利用した物価高対策について伺う

A 上下水道基本料金3か月分を免除する準備を進めております

Q 物価高が加速しているため、今回は物価高対策の一例として燃料購入券を提案いただきましたが、私としては、とにかく物価高対策をしていただきたく、地方創生臨時交付金を利用した物価高対策について、市長の考えを伺います。

A 市長 本市では、これまでに地方創生臨時交付金を活用して感染症対策をはじめ、3度にわたるプレミアム商品券の発行や子育て世帯への給付金支給など、市民生活及び事業者支援策を実施してまいりました。今回、提案頂きました燃料購入券につきましては、まさに原油価格高騰に対応した趣旨に沿ったご提案と理解してございます。しかし、これまで実施したプレミアム商品券の経験から、チケットの印刷費や販売、換金の委託費のほか、各小売店の協力が必要となり、経費と時間がかさむといった懸念も多いため、反省点を踏まえまして、あらゆる物価高騰に対する対策としまして、事業者も含め幅広く対象者を位置づけることで、さらなる効果が見込めるものに取り組んでまいります。

令和4年度の地方創生臨時交付金活用事業につきましては、あらためて多くの市民の方々の生活費負担を軽減するため、原油価格・物価高騰対応分の臨時交付金を活用しまして、上下水道料金の基本料金3か月分を免除する準備を進めております。

質問通告事項

- 1 物価高対策として、燃料購入券を全世帯に配布する支援策について
- 2 男性トイレにサニタリーボックス（汚物入れ）の設置について
- 3 障がい者のための防災ハンドブックの作成と配布について



吉村 慎治 議員



Q 市内でも最も人口の多い下稻吉中地区に公民館施設がない現状について見解を伺う

A 施設整備の早期実現に向けて、協議を進めたいと考えております

Q 下稻吉中地区には公民館の組織はありませんが、施設が在りません。公民館とは本来、教育・学術および文化に関する各種の事業を行い、地区住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会の増進に寄与することを目的とし、基礎自治体が整備するものであることが、社会教育法第20条に示されており、国民の権利の一つである「教育を受ける権利」に應える重要な施設であると考えますが、現在、下稻吉中地区に公民館の施設が整備されていない状況をどの様に考えているのか伺います。

A 教育部長 下稻吉中地区公民館については、現在「わかぐり運動公園体育館」を暫定的に施設に位置付けてはいますが、公民館活動拡充のためには、活動拠点が必要と考えております。関係部署と情報共有及び連携した対応を考えており、地域の実情や意向を十分に確認して、最適な公民館コミュニケーション活動ができるよう支援をして参りたいと考えています。

Q 7月10日に執行された市長選挙と市議会議員補欠選挙において、市長選の投票用紙と市議補選の投票用紙を同時に有権者に渡し、同時に記入、同時に投函という、間違いの起きやすい投票の方法を採用したのはなぜでしょうか。また、市長選でも市議選でも、仮に当落票差が僅差であったら、この投票方法は大きな問題になっていないと考えますが、そのような認識はなかったのか伺います。

A 総務部長 ご質問のように、有権者にとっては、一部分がりにくく間違いやすい部分があったと受け止めております。今後も同様の選挙があることを想定し、投票方法に限らず、投票所の配置や備品等の設備の状況も踏まえて、公正な選挙の実現、並びに円滑な選挙執行に向けて、有権者の方が安心して投票いただけるよう、必要な事務の改善や見直しに取り組んでまいります。

質問通告事項

- 1 下稻吉中地区公民館について
- 2 観光引き船の操業状況について
- 3 市長選挙と市議補選の投票の仕方について



櫻井 繁行 議員



Q 地域の防災やコミュニティ拠点の観点から、新治児童館の有効活用について伺う

A 地域の皆様にとつて有益な施設の利活用が図られるよう努めてまいりたい

Q 新治児童館は、児童館施設としてだけでなく、防災の観点からも地域にとつて重要な位置づけであり、避難所としての役割も担っています。是非とも様々な世代が男性、女性を問わず集える地域コミュニティの拠点となる有効的な施設として、利活用を考えて頂きたい。担当部局としての考えを伺います。

A 市長公室長 新治児童館につきましては、他の公共施設と比較しましても建築年数が比較的新しい施設であると認識をしております。今後、児童館の廃止に向け、地域の皆様からのご意見を伺う機会を設けさせて頂き、その際に施設の利活用などについてご意見等がありましたら、それらを庁内に持ち帰りまして検討することになるかと思えます。地域の皆様にとつても有益な施設の利活用が図られるよう努めてまいりたいと考えております。

Q かすみがうら市のホームページを確認すると、日本ジオパークの全国大会どころか、筑波山地域ジオパークのバナーすら、トップページに貼られていない状況にあると思えます。是非とも改善をして頂きたいと思うのですが考えを伺います。

A 教育部長 本市における筑波山地域ジオパークの掲示につきましては、歴史博物館のホームページのジオパークの欄の中に、筑波山地域ジオパークのホームページに飛ぶようにリンクがされておりませんが、議員ご指摘のように市ホームページにバナーが貼られておらず、案内が不十分であったと認識しております。今後におきましては、生涯学習課のホームページの中に専用項目を設ける、または、市のホームページにバナーを貼る、さらには、多くの方を呼び込む観光的な面もありますことから、観光協会のホームページなどにバナーを貼るなど、関係部局とも協議しながら改善をしてまいりたいと考えております。

21 質問通告事項
本市における筑波山地域ジオパーク推進事業について
本市における児童館運営事業について



設楽 健夫 議員



Q 政治倫理条例の制定について、市長の見解を伺う

A 議員の皆様とともに、政治倫理条例を制定する考えです

Q 政治倫理条例のない本市と、政治倫理条例制定下の近隣市の行政運営の相違点と整合性、そして、本市の政治倫理条例制定について伺います。

A 市長公室長 請負等の制限につきまして、土浦市では1親等、石岡市では2親等以内の親族が経営する企業は、地方自治法第92条第2項の趣旨を尊重し、工事等の契約自体や行為の制限が定義されております。

A 市長 政治倫理条例は制定する考えです。条例は、市長等の特別職と議会議員を対象者として、議員の皆様と共に制定に向けて歩みを進めてまいりたいと考えております。

Q 責任を明確にするため、筑波ハウス跡地2・9ヘクタールの有害物質9項目の売手側に土壌分析報告書を提出を求めることについて伺います。

A 参事 非公開で市議会への供覧は可能と前地権者からの報告がありました。原本を市へ提出することについては再度交渉いたします。

Q スクールバス児童行方不明事件再発防止緊急対策、事実に基づいた再発防止策、児童生徒の安全・安心を速やかに確保していくことについて伺います。

A 教育部長 今後、同じような事故、事案が二度と発生しないように、学校、事業者等を含めて、改めて指導を徹底してまいります。

質問通告事項

21 政治倫理とコンプライアンスについて
7・1スクールバスの指定停留所以外での降車事案における7・25保護者要望項目と命を守る再発防止対策について

3 霞ヶ浦地区の過疎対策と基本計画について



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、質疑応答を通常90分の持ち時間で行う一般質問は、45分に短縮して行いました。

来栖 丈治 議員



Q 霞ヶ浦の環境対策と併せ、湖面を活用した太陽光や風力、水力発電など、再生可能エネルギーに取り組み、日本の先進事例として世界発信を通じた地域発展に結びつける政策について伺います。

A 理事 霞ヶ浦湖は当市が誇る地域資源の一つであり、地域固有の資源、霞ヶ浦を活用し、地域の特性を踏まえたエネルギー源としての再生可能エネルギーの利活用は、市民一人一人が地球温暖化対策に関心を持つことにもつながり、脱炭素社会の実現に向けた大きな一歩となるだけではなく、地域経済活動の活性化にも大きな効果をもたらすものです。議員ご指摘の視点も踏まえて、エネルギー源としての霞ヶ浦の利活用の可能性を探り、霞ヶ浦の環境対策と併せたエネルギー施策を検討してまいりたいと考えております。

Q 霞ヶ浦の湖面を活用した再生可能エネルギーで、日本の先進事例として世界発信を

A 脱炭素社会実現に向けた大きな一歩となり地域経済活動の活性化にもなると考えます

質問通告事項

- 1 市の脱炭素化温暖化対策、再生可能エネルギー推進、霞ヶ浦の環境保全政策について
- 2 過疎地域を持続的に発展させる政策について

Q 霞ヶ浦地区の過疎対策として、雇用の確保や移住定住を図る意味で、加茂工業団地への企業誘致や周辺整備などの過疎対策の中心的な位置づけについて見解を伺います。

A 理事 加茂工業団地は過疎地域指定区域内の産業集積地域であることから、有効に活用することが極めて重要であり、同団地を活用することが周辺の環境整備につながることも想定されます。現段階においては、加茂工業団地のポテンシャルを把握するとともに、今後の活用手法等を明確にすることが必要であると考えております。また、道路を含む周辺環境のインフラ整備は工業団地のポテンシャルを高め、周辺地域への経済効果など、過疎地域対策にもつながる点で大事であると考えます。費用対効果や周辺環境なども考慮し、議員ご指摘の視点も踏まえ、同工業団地の価値を高める有効な環境整備を、法令手続等も確認しながら検討していきたいと考えております。



金子 遥 議員



Q 2020年、文部科学省が休日の部活動を段階的に地域移行することを、2023年度以降から行っていく方針を明らかにしましたが、指導料や生徒の送り迎えなど保護者負担の増加の問題や、地域移行の受け皿がある地域とない地域があること、地域移行は本当に進むのか、指導者は確保できるのかなど解決すべき課題は多いと思われまます。まずは、部活指導員の確保、委託先に対しての市の考えについて伺います。

A 教育長 教職員働き方改革推進委員会の中でも、退職教職員への協力や、企業へ外部コーチの協力を依頼し指導経験をもってもらうことで、部活動指導員の令和5年度以降の確保に向けて現在話し合いを進めている所であります。

Q 部活動の地域移行の現状と今後の方針について伺う

A 各学校と教育委員会が連携し、地域移行のための人材確保を進めてまいります

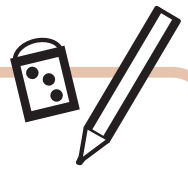
質問通告事項

- 1 荒廃農地活用のための施策とそれらを活用した地域振興について
- 2 部活動地域移行の現状と今後の方針について

Q 荒廃農地、遊休農地活用には若い世代の力も必要かと思えます。担い手の育成や、外部への周知といった視点で農地の利活用のための広報をどのように行うべきか伺います。

A 市長 認定農業者だけではなく、農業に意欲のある多様な担い手を育成、確保することが必要になってまいります。市としては、若い世代にも農業に関心を持っていただけるよう、児童生徒に市内の農業や農産物に触れる機会となる子どもミライ学習を継続するほか、市内外の方に対して、ホームページや広報誌を活用して新規就業事業や遊休農地対策事業について、継続してPR活動を行ってまいります。また、育て上げた農産物の販路拡大のために、私自らトップセールスをしてまいりたいと考えております。





議会日誌 (7月29日～10月27日まで)

- 7月●
29日 筑波山地域ジオパーク
6市議会議員連盟協議会総会
- 8月●
2日 議会運営委員会
全員協議会
9日 議会運営委員会
全員協議会
17日 総務委員会
議会運営委員会
23日 議会運営委員会
全員協議会
- 9月●
5日 議案審査特別委員会
決算審査特別委員会
総務委員会
文教厚生委員会
8月30日～9月21日
令和4年第3回定例会

議会を傍聴して 市の動きを知りましょう!

令和4年第4回定例会は、11月22日(火)から12月7日(水)までの16日間で開会予定となっております。
本会議は、どなたでも自由に傍聴することができますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を制限させていただきます。ご了承ください。



- 10月●
6日 産業建設委員会
議案審査特別委員会
12日 決算審査特別委員会
13日 決算審査特別委員会
14日 決算審査特別委員会
15日 決算審査特別委員会
21日 議会運営委員会
全員協議会
- 10月●
13日 総務委員会
議会運営委員会
14日 議会運営委員会
20日 議会運営委員会
25日 産業建設委員会
27日 議会運営委員会
議会だより編集特別委員会

令和4年第1回臨時会及び第3回定例会の傍聴者数は、45名、また、インターネットLIVE中継へのアクセス数は3,664回でした。(本定例会では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため傍聴席を制限させていただきます。)

ジオパークとは？



ジオパークとは、科学的に貴重な、あるいは景観として美しい地形・地質などの「大地の遺産」であるとともに、それらを教育や観光などの推進に活用し、保護しながら地域の持続可能な発展に寄与することを目的としております。2022年1月現在、日本には46地域のジオパークがあり、そのうちの9地域がユネスコ世界ジオパークに認定されております。

本市を含む筑波山地域ジオパークは、国内で41番目の日本ジオパークとして、2016年9月に誕生しました。石岡市、笠間市、桜川市、つくば市、土浦市と共に、推進協議会を組織しており、地域の方々の協力を得ながら、講座や観光ツアーを行うなど、地域の魅力を紹介する活動を行っております。

かすみがうら市議会では、地域発展のため、筑波山地域ジオパークを応援しております。興味を持たれた方は筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局ホームページをご覧になってみてはいかがでしょうか。

(参考) 筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局ホームページ



▲ホームページ QRコード

編集後記

コロナ禍の生活もまもなく3年になります。収束へはまだ時間がかかりそうですが、規制が緩和され、観光地にも人が戻ってきました。

コロナと共生しながら日常を取り戻す、今はその過渡期であると思っております。人が集まる場所でのマナーなどで、判断に悩むこともしばしばです。

人それぞれ、コロナに対する考え方が異なります。これからは人によって行動が変わってくるかもしれませんが、多様性を認め合いながら助け合うことが大切であると思います。

議会だより編集委員 吉村 慎治

ご意見をお寄せ下さい